

数学

同志社大学 全学部日程 [理系] (2/4実施)

<全体分析>

試験時間

100分

解答問題数

4題

解答形式

〔I〕は空所補充、〔II〕～〔IV〕は記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

昨年と同様、設問数が多く、計算量も多い

その他トピックス

特になし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕 (1)	確率 数列の極限	数学A 数学III	さいころの積を4で割った余りを調べる	標準
(2)	複素数平面	数学III	軌跡が円になる条件と極限	標準
〔II〕	平面ベクトル	数学B	交点の位置ベクトルと三角形の面積比	やや易
〔III〕	図形と方程式 整式の微分・積分	数学II	線分の通過領域の面積	やや難
〔IV〕	積分法 数列	数学III 数学B	定積分を用いた不等式の評価	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、数学IIIからの出題が多い。数学IIIの微分積分については、質、量ともしっかりと学習を必要とする。設問数、計算量ともに多いので正確かつ素早い処理能力を身につけるよう努力したい。過去問を解いてみて難しさの程度を知ろう。